

令和2年度

事業計画書

公益財団法人東大阪市文化振興協会 令和2年度事業計画

令和2年度公益財団法人東大阪市文化振興協会の事業計画は次に定めるとおりとする。

公益目的事業

地域文化芸術の振興並びに児童文化の育成を図る事業

市の文化施設を活かしたさまざまな事業の企画及び実施により、市民が文化芸術等に対する理解と親しみを深めていただき、あわせて事業に積極的に参加できる環境づくりの推進を図り、市民の文化芸術・スポーツ活動をより活発化させることで潤いのある豊かな地域社会の実現を図ることを目的とします。

事業内容

(1) 文化芸術の振興を図るための催し物、講座及び展示等の実施に関する事業

東大阪市民美術センター

指定管理期間 令和2年4月1日～9月30日

市民に親しまれる文化振興の活動拠点として、内外の優れた芸術作品を紹介する特別展示の開催や、市内の文化団体や各種グループの文化活動の成果・作品を発表する場として、あるいは茶室を利用したお茶会に利用していただけます。

また市民の創作活動の手がかりを提供する各種講座の開講等、市民の文化芸術の推進を図ります。

◇主な事業

① 特別展示

- (仮称)「みんなで選んだ版画展～大阪府20世紀美術コレクションより～」

(予定 5月12日～6月14日)

大阪府20世紀美術コレクションの版画を展示。市民美術センターのボランティアと一緒に作品を選定し、作品を通して当時の美術の動向を紹介します。約240点の作品に絞り、デモクラートの作家と風景版画のような構成を考えています。

またレセプションやギャラリートーク等も予定しています。

- (仮称)「木とのふれあいワールド つちやあゆみ サウンドワンダーランド」

(予定 7月28日～9月6日)

約20点の作品を見るだけでなく、実際に触って体験できる乗って体験ゾーンや歯車ゾーン、演奏体験ゾーン等参加型の展示とし、子どもから大人まで幅広い世代に芸術に触れ親しむ機会を提供します。

またレセプションやワークショップ、グッズ等の販売も予定しています。

② 企画展

○ (仮称)「東大阪市名所旧跡風景写真展」

(予定 7月14日～26日)

古来より日本で親しまれてきた八景にちなみ、東大阪の魅力を伝える風景の中から8つのテーマ(月、山、水辺、生き物、夜景、名所、社寺仏閣、旧跡遺跡)に沿った約160～200点を展示し、普段気づきにくい東大阪の魅力を再発見できる写真展とします。

またレセプションやギャラリートークを予定しています。

③ 創作講座等

○ 創作講座と夢をかたちに展の開催(66期、67期)

「はじめての油絵教室」「親子油絵教室」「はじめての水彩画教室」「サンデーデッサン教室」を開催します。

それぞれの講座終了後、受講者の作品発表の場として「夢をかたちに展」を開催します。

④ ひるさがりロビーコンサート

団体の展示会中に月1回(土日等)程度の開催を目標として、各種楽器演奏やコーラス等を開催します。

⑤ ボランティア活動の受け入れ

特別展等の会期中に、展示室内の監視をはじめ、庭園等の清掃活動の協力を受け入れます。

文化振興協会本部が行う事業

◇ 主な事業

○ 井山杯東大阪市囲碁フェスティバル(開催日は未定)

(2) 科学、文化教室、演劇、演奏会及びスポーツ活動等を通じて、児童文化の育成を図る事業

東大阪市立児童文化スポーツセンター

指定管理期間 令和2年4月1日～9月30日

子どもたちが楽しみながら科学・文化・スポーツについて知識や技能を身につけるとともに、自発的に参加・体験、相互交流する中で、学習意欲の向上、健全な人間関係が構築される等、より広い視野で育ち豊かな感性を育めるような各種教室・事業を展開します。

◇主な事業

① プラネタリウム

平日4回、日祝5回投影。

子どもたちが宇宙や星に関心を持てるような番組や学校園等団体向けの各学年に応じた学習番組を企画し投影します。

② 常設(科学)展示室

宇宙と人間を基本テーマとし、宇宙・地球・人間・科学のふしぎについて、展示物を通じて子どもたちが楽しく体験しながら学習できるコーナーです。

③ スポーツホール

1日5回入れ替え制。

子どもが安全に思い切って体を動かせるよう床全面にソフトマットを敷き、大型遊具や一輪車等、子どもたちがいろんな遊具を使って遊びを創り出し、飛び跳ねたり転がったりして運動の楽しさと喜びを味わう運動広場で、安全面、衛生面でも質の高いサービスを提供していきます。

④ 多目的文化ホール

団体または個人に市条例に基づいて施設を利用していただきます。

日頃学校園では鑑賞する機会の少ない優れた児童演劇や音楽、映画の鑑賞、活動成果の発表、文化活動を続けている子どもたちの発表の場を提供します。

また、さまざまな文化に触れることで感性豊かな人間の育成を図り、表現力を高めます。

⑤ 教育普及事業

○「星空教室」

星の基礎知識や望遠鏡の使い方を習得し、プラネタリウムや屋外での天体観測実習等も行う教室です。

○「星をみる会」

当日無料で参加できるファミリー向け天体観望です。

○「生物教室」

野外観察や顕微鏡を使った実習等を交えた継続的な教室です。

- 「ものづくり教室」
親子陶芸、七夕かざり等、手作りの楽しさを体験してもらう教室です。
- 「ハンドベル教室」
ハンドベルの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。
- 「バイオリン教室」
バイオリンの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。
- 「児童文化スポーツセンター児童劇団（フラップトリップ）」
小学生から高校生までの劇団で、演劇を通して自立した個人として成長することを中心とした活動を行います。
- 「児童文化スポーツセンター管弦楽団（チェルボ）」
社会人の管弦楽団で、中高生の研究生も募集しています。
- 「親子チャレンジ教室」
就園前の子どもと保護者が季節の行事体験を楽しみながら心と体の触れ合う教室です。
- 「なわとあそぼう！教室」
なわとびを通して体の使い方やリズムのとり方を学び、体を動かすことを楽しむ教室です。
- 「1・2歳児の親子ふれあいあそび教室」
手遊びやマッサージ、体操等のふれあいで親子のコミュニケーションアップを目指す教室です。
- 「子どもの日ゆめ劇場」
文化芸術・音楽会の公演です。
- 「子ども映画サロン」
子ども向けの楽しい映画鑑賞会です。
- 「子ども文化劇場」
コンサート、演劇等の舞台公演です。
- 「プラネタリウムドームイベント」
プラネタリウムドームでのイベントを開催します。
- 「ロビーイベント」
1階ロビーでの個展やコンサート等の催しです。
- 「夏休み工作教室」
夏休みの宿題にも役立つ自由で楽しいイベントです。
- 「夏休み一輪車教室」
一輪車の正しい乗り方など、基礎から楽しみながら技術を高める教室です。
- 「夏休み特別展」
毎年テーマを決めて、夏休み期間中に実施しています。
- 「夏休み星空たんけん隊」
小学生が宿泊で天体観測を体験し、宇宙への関心を高める教室です。

- 「子どもお祭り広場」
家族で楽しめるふれあいの場です。
- 「教室発表会」
各種教室に参加した子どもたちの集大成としての発表会です。
- 「伝統文化事業」
お茶会等の伝統的な文化に触れる事業です。
- ⑥ 自主事業
 - 「英会話教室」
リトミックや手作り教材で学び、乳幼児の時期から英語に親しむ教室です。
 - 「囲碁教室」
囲碁の打ち方やルール等から始める初心者向けの教室です。
 - 「将棋教室」
将棋の打ち方やルールを学ぶ入門クラスと戦法等のアドバイスが受けられる初級クラスがある教室です。
 - 「世界のいきもの大集合」
世界のクワガタ、カブトムシ、爬虫類、両生類の展示、頒布をします。
 - 「おきがるプラネタリウム（仮称）」
赤ちゃんが泣いたり、静かに聞くことが難しいお客さまでも、気兼ねなくご覧いただけるプラネタリウム解説と投影です。
- ⑦ 連携
 - 教育普及事業
 - 「東大阪市や他市及び他施設との連携」
市や民間企業、他施設と連携し、さまざまな共催事業を企画し実施します。
 - 「地域との連携」
地元商店街との連携を図ります。
 - 「子ども会との連携」
東大阪市子ども会育成連絡協議会との連携を推進します。
 - 「消費生活体験教室」
工作体験を通じて自然エネルギーや地球環境問題について学びます。
 - 「大学との連携」
近畿大学、大阪樟蔭女子大学、大阪商業大学、大阪芸術大学等との連携を図ります。
 - 自主事業
 - 「大学生プラネタリウム」
大阪教育大学、近畿大学、神戸大学、大阪大学、立命館大学の天文サークル等の学生が投影の練習を行うことで、プラネタリウムの普及啓発、産学連携、後継者育成を目指します。

⑧ その他

○ 「研修」

館内外において職員や教員等の研修を実施しており、全国プラネタリウム連絡協議会や大阪プラネタリウム連絡協議会等への参加をします。

○ 「職業体験学習等の受け入れ」

学校園の依頼により職業体験、仕事の聞き取り学習等の受け入れを行います。

(3) 郷土の文化遺産に関する資料収集と保存及び公開普及を図る事業

東大阪市立郷土博物館

東大阪地域の歴史・文化財の調査研究並びに考古、民俗その他の各種資料の収集、保存、管理を行うとともに、各種資料をもとに展示事業、講座を開催し、四季に応じた昔の暮らしをテーマとした体験学習や、春、秋の史跡ハイキング等の企画を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め理解し、郷土を愛する豊かな心を育めるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

○常設展示「かわちのくに」展（4月1日～令和3年3月31日）

これまでの発掘調査や市民からの寄贈資料を通して、市内に人々が暮らし始めた約2万年前から昭和時代までの郷土の歩みを時代順に振り返ります。通史的内容であることから、小学6年生の社会科や総合学習との連携を図ります。

- ・展示解説1「東大阪のあけぼの」旧石器時代（4月4日）
- ・展示解説2「東大阪のあけぼの」縄文時代（7月4日）
- ・展示解説3「東大阪のあけぼの」弥生時代（8月1日）
- ・展示解説4「東大阪のあけぼの」古墳時代（8月29日）
- ・展示解説5「東大阪のあけぼの」奈良・平安時代（10月3日）
- ・展示解説6「東大阪のあけぼの」鎌倉・室町時代（11月28日）
- ・展示解説7「東大阪のあけぼの」江戸時代（令和3年2月6日）
- ・展示解説8「東大阪のあけぼの」明治時代以降（令和3年2月27日）

○春季企画展示「ものづくりのまち東大阪—古墳づくりのあゆみ」展 （4月1日～9月6日）

常設展示と並行して市域を取り上げた展示。本年度はものづくりのまち東大阪の古墳づくりのあゆみを振り返ってみます。

- ・展示解説「古墳づくりのあゆみ」（5月5日）

○夏季企画展示「はかる道具」展（6月2日～9月6日）

博物館に収蔵されている資料の中からはかる道具を展示します。

- ・展示解説「はかる道具」（6月6日）

○特別展示「東大阪旅紀行」展（9月17日～12月6日）

担当学芸員が調査研究した成果を市民に公開します。本年度は東大阪の人々の旅の記録を通して郷土の歴史をより深く理解していただきます。

- ・展示解説「東大阪旅紀行」（10月10日）

○冬季企画展示「昭和のくらしの知恵」展（12月17日～令和3年3月7日）

昭和時代の東大阪のくらしを市民から寄贈された民具類を通して振り返ります。

小学3年生の学習内容に沿った展示で、小学校との連携を図ります。また実物の

民具に触れ、使用体験ができるコーナーを併設します。

・展示解説「昭和のくらしの知恵」(令和3年1月9日)

○春季企画展示「ものづくりのまち東大阪―寺づくり」展

(令和3年3月18日～9月5日)

常設展示と並行して市域を取り上げた展示。東大阪での寺づくりの様子を紹介し
ます。

② 体験学習等

○「いなだももを育ててみよう」(5月3日)

いなだももは、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、全国的に知られていま
した。いなだももの苗木の配布を通して、郷土の歴史について理解を深めていただき
ます。

○春の体験イベント「染めものと昔あそびをたのしもう」(5月6日)

博物館周辺にある自然素材を使って染めものに挑戦するとともに、竹ぼっくりや
花の髪飾りを作製し昔あそびを楽しんでいただきます。

○夏休み親子手づくり教室「日時計とものさしをつくろう」(7月19日)

竹、紙、粘土を使って日時計とものさしをつくります。作品の一部は夏休み期間
中にロビーで展示します。

○カブトムシ・クワガタをはじめとする昆虫の無料配布(7月22日)

博物館周辺の自然と歴史に触れ、郷土への理解を深めていただきます。入館者に
1人1匹のカブトムシ・クワガタ等の昆虫を無料配布します。

○夏休み親子体験イベント「卑弥呼に変身」(7月23日)

豪族の武器や宝物、石の勾玉づくりに挑戦し、衣装に着替えて卑弥呼や古代豪族
に変身してみます。

○夏休み自然素材を使って遊び道具をつくろう(8月2日)

竹や木を使って竹ぼっくりやゴム鉄砲等を手づくりします。

○夏休み考古学者教室「君も今日からミニ考古学者」(8月23日)

本物の土器、石器に触れてみます。土器の文様を写し取り、復元にチャレンジし
ます。勾玉づくりに挑戦します。

○はくぶつかんまつり(10月4日)

内容「企画中」

○秋の体験イベント「自然素材を使った親子のものづくり」(11月22日)

博物館周辺にある秋の自然素材を使って動物やクリスマスツリー、リースづくり
をします。

○年末の体験イベント「干支の置物とミニ門松づくり」(12月20日)

秋にとれた稲わら、松ぼっくり、粘土を使って干支の置物やミニチュア門松をつ
くり、昔の年末行事の一端に触れていただきます。

○冬の体験イベント「節分を楽しもう」(令和3年1月17日)

張り子の鬼の面づくりを通して年中行事を楽しんでいただきます。

○昭和の体験イベント「わらぞうりをつくろう」(令和3年2月14、21日)

わらぞうりづくりを通して昔の暮らしを知っていただきます。

○綿くり体験と綿の栽培に挑戦(令和3年3月18日～)

綿は江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、河内木綿として全国的に知られる製品となっていました。秋に収穫した実綿から綿くり機によって種を取り出すとともに、その種をそれぞれ持ち帰り栽培していただきます。

○春休み考古学者教室「君も今日からミニ考古学者」(令和3年3月21日)

古墳探検や本物の土器、石器に触れてみます。土器の文様を写し取り、復元にチャレンジします。勾玉づくりにも挑戦します。

③ 古墳見学会・史跡ハイキング

○古墳の定期見学会9 ～横小路の古墳を訪ねる～(4月29日)

博物館周辺にある古墳の定期見学会で、地下に眠る埋没古墳を訪ねた後に博物館で出土品を見学します。(入館無料)

○春の史跡ハイキング「河内名所図会を歩く」(5月24日)

河内名所図会に記載のある史跡を訪ねます。参加者に記念品(綿の種)を進呈。

○古墳の定期見学会10 ～枚岡の古墳～(10月11日)

枚岡神社周辺にある古墳を見学します。

○秋の史跡ハイキング「東高野街道を歩く」(11月1日)

東高野街道沿いの史跡を巡ります。

④ 講演会・講座等

○春季企画展示に伴う講演会「山畑古墳群の石棺」(5月17日)

成人の方を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。(「国際博物館の日」参加のため入館無料)

講師：博物館学芸員

○夏季企画展示に伴う講演会「おもりの話」(6月21日)

成人の方を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。

講師：博物館学芸員

○冬季企画展示に伴う講演会 仮題「未定」(令和3年1月24日)

市民を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。

講師：未定

○特別展示に伴う講演会 仮題「未定」(11月14、15日)

成人の方を対象に、特別展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。(「関西文化の日」参加のため入館無料)

講師：未定

○土曜講座「平野 山裾 山腹の文化財」

成人の方を対象に、博物館学芸員による郷土の歴史をさまざまな観点から学ぶ学

習会です。本年度は「平野 山裾 山腹の文化財」を統一テーマとして検討してみます。(会場は埋蔵文化財センター)

- ・第1回「城跡と寺跡」(9月12日)
- ・第2回「ものづくりの現場 菅笠 わたづくり 水車」(9月19日)
- ・第3回「東大阪地域の古墳の立地の変遷」(9月26日)

○出前講座「歴史講演会」

博物館学芸員が地域に出向いて講演をします。いずれも開催日、演題は未定。

- ・東大阪市社会福祉協議会 シニア地域活動実践塾歴史コース(年3回予定)
- ・日下リージョンセンター企画運営委員会 やさしい歴史教室(年4回予定)
- ・四条リージョンセンター企画運営委員会 歴史講演会(年1回予定)
- ・梶無神社 ふれあいやさい市に伴うミニ歴史講座(年6回予定)
- ・河内の郷土文化サークルセンター 歴史講演会(年1回予定)
- ・下六万寺老人クラブの歴史講座 歴史講演会(年1回予定)

⑤ その他

○博物館実習生の受け入れ

東大阪市周辺にある大学からの依頼に基づき、学芸員資格取得を志す学生に対して実習の機会を提供し、将来的な博物館活動の発展を図ります。

○職業体験、仕事の聞き取り学習の受け入れ

小中学校の「総合的な学習の取り組み」に連携して、市内小中学校からの依頼により実施します。

○博物館学芸員体験ボランティアの受け入れ

高等学校等からの依頼により実施します。

○博物館の資料閲覧申請及び資料貸出申請事務

○実物資料や写真資料等の申請者への閲覧業務及び貸出業務

- ・博物館、資料館等の公共機関からの申請
- ・教科書の掲載出版社からの申請
- ・その他の機関からの申請

○団体見学時における資料解説

○出前教室等の講師依頼による講師派遣等の対応

○市(文化財課)が主催する資料展示会等への協力等

東大阪市立埋蔵文化財センター

市内の遺跡や古墳から出土した土器などの調査、整理、保存、展示をする役割に加え、古代の生活を実際に見て、触れて、作ることができる体験型の学習をする施設です。

また、歴史を学ぶ講演会(文化財課主催)や郷土の歴史を学ぶ土曜講座(郷土博物館主催)等、市の文化財保護行政と連携、協力を図りながら市民文化の向上に努めています。

◇主な事業

① 収蔵品展示

- 「弥生人の美」(令和元年11月9日～令和2年11月3日)

東大阪市内の遺跡の中には、弥生時代の人々の家やお墓、お祭りの場等も見つかっており、そこから出土した道具やアクセサリ等をもとに弥生人の優れた技や美意識などを探っていきます。

- 「古墳人の美」(令和2年11月10日～令和3年11月3日)

市内にある古墳時代の遺跡から見つかっている資料によって、古墳時代の人々の美意識を探っていきます。

② センター内の部屋の借り受け

- 土曜講座(視聴覚室) 郷土博物館主催

市民を対象に博物館学芸員による郷土の歴史をさまざまな観点から学ぶ学習会です。

- 古文書講座「中級編」(学習室) 鴻池新田会所主催

多種多様な古文書を読みこなします。(初級編受講済みの方に限る)

③ その他(市主催事業等への協力)

- 体験学習、歴史講演会、春休みや夏休みのイベント事業等。

- 日本の年中行事を題材にした期間限定のオリジナル勾玉づくり。

鴻池新田会所

郷土の歴史、文化に興味を持っていただけるよう会所の建物群や庭園を公開します。また、その特徴を生かしたさまざまな魅力ある事業を展開するとともに、講演会、史跡ハイキング等を通じ郷土愛を育み、市の歴史に関する学習の場として活用できるよう普及啓発を図ります。

その他、新田開発に関する資料収集及び民具等の保存、管理を適切に行い、展示や体験学習等に活用することでより広く地域の文化に親しむ機会を設けます。

◇主な事業

① 展示

- オープンエアミュージアム事業(通年)

国史跡重要文化財に指定されている建造物とその附帯施設、鴻池家から寄贈された民具類を一般公開し、鴻池新田会所に関連する歴史学習の場を提供します。

- 企画展示

「マッチ箱の世界」(6月13日～7月12日)

市民所有の昭和初期のおまけマッチ箱を展示します。

「菖蒲の節句」(4月28日～5月5日)

「七夕飾り」(6月27日～7月7日)

上記の2展示は、節句に合わせ、その飾りに使用された民具を鴻池家寄贈資料か

ら選定したものを使用します。

○パネル展示

「大和川と淀川を学ぼう」(11月5日～12月4日)

会所とその周辺地域が寝屋川を介し、大和川と淀川に深くかかわってきた地理や歴史を解説するパネル展示を行います。小学4年生で学習する大和川及び淀川の改修工事プロセスをわかりやすいスライドコンテンツを作成し、学芸員による団体見学向けの解説を行います。

○鴻池家寄贈民具展

「むかしの道具いろいろ」(令和3年1月13日～2月28日)

小学3年生向けの学習内容に合わせた民具資料の展示を行います。火鉢、ランプ、提灯、駕籠、人力車、ラジオ、古銭、秤等約50点を展示するほか、秤で米の重さの秤量を体験できるハンズオンコーナーを設けます。また、展示期間中は普段公開していないヘソ風呂や厠を観覧できるようにします。小学校団体見学向けに学芸員による展示解説を行います。

② 体験学習等

○むかししごとのワークショップ「木工のたくみ」(7月18日)

鋸や小刀、鉋の使い方を学びながら箸を作ります。

○むかししごとのワークショップ「藍染めチャレンジ」(8月22日)

藍の乾燥葉から染め液を作り、ハンカチやTシャツを染色します。

○むかししごとのワークショップ「綿しごと」(11月14、15日)

会所で収穫した棉を使い、糸ができるまでの伝統的な技術を体験します。

○むかししごとのワークショップ「正月飾り」(12月5日)

ペーパーラフィアを綯ったしめ縄に会所でとれた自然素材を飾りつけし、同様に会所でとれた竹や松葉で門松をつくります。

○むかししごとのワークショップ「餅つき」(12月13日)

会所のかまどで米を蒸し、杵と石臼を使って昔ながらの餅つきを体験します。もち米を各家族で持参し、家族協業で餅をついていただきます。

○超入門植木剪定講座(11月25日～27日)

会所の生垣や低木を教材として、剪定ばさみやトリマー等剪定道具の使い方、剪定方法を学びます。(無料：ただし初回のみ入館料要)

○南京玉すだれ(体験会あり)(5月6日)

市内在住大道芸愛好家の実演と参加者による体験会を実施します。(無料：ただし入館料要)

③ 講演会

○「淀川の河川漁業と川漁師の世界 新開池との比較(仮題)」外部講師(5月24日)

○「寝屋川と新開池(仮題)」会所学芸員(5月31日)

○「鴻池家の代参宮記録(仮題)」外部講師(10月4日)

○「鴻池新田の村経営(仮題)」会所学芸員(10月18日)

④ 史跡ハイキング

- 「街道をゆく 暗越奈良街道 (2)・枚岡～布施」会所学芸員 (4月26日)
枚岡駅を起点に暗越奈良街道を西へ進み、松原宿や新家村、御厨村を抜けて深江を目指します。
- 「新開池の痕跡を探る 長田～鴻池新田」会所学芸員 (5月22日)
かつての新開池の痕跡を探しながら長田、川俣、稲田を通り鴻池新田会所を目指します。
- 「まぼろしの大和川付替え 和気清麻呂の功績を辿る」会所学芸員 (9月27日)
大和川付替えに失敗した和気清麻呂による工事箇所を東部市場前駅から天王寺にかけて歩きます。
- 「新開池の痕跡を探る 荒本～加納、鴻池新田」会所学芸員 (11月10日)
かつての新開池の痕跡を探しながら荒本、古箕輪を通り鴻池新田会所を目指します。

⑤ 講座

- 近世史講座 (5月14日～6月11日 全5回) 鴻池新田会所・会所学芸員。
江戸時代の喜里川村、四条村、池島村、六万寺村、横小路村を取り上げます。
- 古文書講座入門編 (9月24日～10月22日 全5回) 鴻池新田会所、会所学芸員
河内屋南新田 (東大阪市元町)、深野南新田 (大東市) の古文書をテキストに、くずし字解読の基礎を学びます。
- 古文書講座初級編 (10月29日～11月26日 全5回) 鴻池新田会所、会所学芸員
江戸時代の刊本をテキストに、かな文字を習得します。
- 古文書講座中級編 (金曜日 4月10日～令和3年3月19日 全22回) (土曜日 4月11日～令和3年3月20日 全22回) 埋蔵文化財センター・会所学芸員
多種多様な古文書を読みこなし、博物館などで古文書の見学をします。

⑥ 通年事業

- 河内木綿に関する事業
 - ・綿繰り体験 綿繰りを使って実綿から種を分離する体験です。(常設)
 - ・綿の種配付 (4月1日)
 - ・綿の栽培 5月上旬より12月中旬まで本屋北西側の一角に畑を設け、観覧者や小学校団体に栽培の様子を見ていただきます。
- 昔の衣装貸し出し 河内木綿半纏を試着していただきます。(常設)

⑦ その他

- 茶会 (5月3日)
東大阪茶花道協会による茶会を実施します。
- 鴻池新田会所寄席 (11月3日)
素人寄席「天満天神の会」による落語会を開催します。(無料：ただし入館料要)
- 蓄音機コンサート+聴き比べライブ (5月17日)
貴重な蓄音機によるSPレコード鑑賞会とライブ演奏を開催します。(無料：ただ

し入館料要)

○鴻池ジャズストリート (10月25日)

プロプレイヤーによるジャズコンサートを開催します。旧大和川ストリート実行委員会との共催。(入場券要、会場以外の観覧は無料)

○コスプレフェスタ (4月18、19日、5月10日、6月7日、9月22日、10月10日、11月8日、12月6日)

古建築を背景に時代物のコスプレ衣装をまとい、撮影を楽しんでいただきます。近年のコスプレブームに相乗し、規模の大きなコスプレ撮影会をコスジョイとの共催で実施します。コスプレイヤー集客ノウハウを持つコスジョイが参加者を募集し、参加したコスプレイヤーには、入館者増につながるように会所スタッフが居宅利用を促す営業活動を行います。また一般入館者向けのコスプレ体験コーナーを設けます。

○やさい染めとくちなし染めの体験学習 (予定) (8月上旬及び3月下旬)

⑧ 地域連携事業の拡充

○近隣自治会、住民との連携事業の拡充

周濠の清掃事業等を近隣自治会及び住民と共同事業として実施しています。また近隣住民が主催する行事として鴻池ジャズストリートや鴻池新田会所寄席等を開催します。さらに地元自治会と育成会の主催で親子餅つきを実施する予定です。

鴻池新田会所はこれらの事業がスムーズに行えるように場所の提供や広報活動に協力をしていきます。また鴻池新田会所が催す各種行事にも、地元自治会に参加を要請し、市の承認を得て招聘を行います。

(4) 施設の管理運営事業

市民美術センター

- ・施設利用申し込みの受け付け、使用許可及び取り消し
- ・施設使用料等の徴収、使用料の減額及び免除並びに還付
- ・施設設備の維持管理業務
- ・その他施設の管理に関すること

児童文化スポーツセンター

- ・施設観覧及び使用申し込みの受け付け、使用許可及び取り消し
- ・使用料、観覧料の徴収及び使用料の還付
- ・施設設備の維持管理業務
- ・その他施設の管理に関すること

文化財施設（郷土博物館、埋蔵文化財センター、鴻池新田会所）

- ・郷土博物館の観覧料及び閲覧料の徴収
- ・郷土博物館の資料閲覧、貸出申請書及び観覧料、閲覧料免除申請書の受け付け
- ・郷土博物館の施設設備の維持管理業務
- ・埋蔵文化財センターの観覧及び閲覧や貸し出しの申請書の受理及び貸出業務
- ・埋蔵文化財センターの体験学習等の材料の販売及び代金の納付
- ・埋蔵文化財センターの施設設備の維持管理業務
- ・鴻池新田会所の施設使用許可申請書及び観覧料、施設使用料免除申請書等の受け付け
- ・鴻池新田会所の観覧料及び施設使用料の徴収
- ・鴻池新田会所の施設設備の維持管理業務
- ・市や教育委員会発行の刊行物の販売及び代金の納付
- ・図書・資料類の受け入れ、保存整理
- ・文化財に関する広報活動